|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式4　基礎科目c領域実験・実習課題リスト※可能な限り空欄を埋めて下さい①科目名②担当者③実験実習の内容項目④授業時間（分） | ⑤レポートについてa.目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートを　　　授業外に作成して提出b.目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートを　　　授業中に作成して提出c.上記以外のレポート（感想文等）を提出d.レポートなしe.その他（③の空欄に具体的に記述する） | ⑥実験・実習におけるあなたの役割A.実験者と参加者（協力者）の両方になったB.実験者だけになったC.参加者（協力者）だけになったD.実験者にも参加者（協力者）にもならなかった |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **①科目名** | **②担当者** | **③実験・実習の内容項目** | **④****授業時間** | **⑤****レポート** | **⑥****役割** |
| 心理学基礎実験実習Ⅰ（2017） | 宇惠　弘教授多田美香里准教授佐伯恵里奈兼任講師林美恵子兼任講師 | ・触２点閾の測定（１）～（３）・系列位置効果（１）～（３）・知覚運動学習（１）～（３）・データ解析演習（１）～（３） ・復習課題（１）～（２） | 270分270分270分270分180分 | aaaaa | AAAAA |
| 心理学基礎実験実習Ⅱ（2017） | 山田冨美雄教授多田美香里准教授佐伯恵里奈兼任講師林美恵子兼任講師 | ・SD法によるイメージの測定と比較（１）～（３）・ミュラー・リヤーの錯視（１）～（３）・行動観察（１）～（３）・生理データの測定（１）～（３）・実習のまとめ（１）～（２） | 270分270分270分270分180分 | aaaaa | AAAAA |
| 調査方法論（2018） | 宇惠弘教授 | ・オリエンテーション・質問紙法の基礎１～５・質問紙法（人格検査）１～５・SD法１～４ | 90分450分450分360分 | daaa | DAAA |
| 心理学実践領域実習Ⅰ（2017） | 谷向みつえ教授竹橋洋毅兼講師 | ・感情と行動のブレーンストーミング・臨床心理学的面接の基礎／かかわり行動・臨床心理学的面接の基礎／質問技法・臨床心理学的面接の基礎／ 言いかえ・要約技法・インテーク面接とは　・ロールプレイ／情報の収集・ロールプレイ／見立てる　・対人援助のための傾聴・他者の信念に耳を傾ける・考え方の癖や思い込みに気づく・学習方略について耳を傾ける・良好な人間関係を築くためのコミュニケーションとは・説得的なコミュニケーション技法・ロールプレイ／行動変容にむけたコミュニケーション | 90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分 | cccccccccccccc | AAAAAAAAAAAAAA |
| 心理学実践領域実習Ⅱ（2018） | 櫻井秀雄教授津田恭充講師 | ・発達障害（自閉スペクトラム症）および不登校に対する臨床技法の歴史的変遷・発達障害（自閉スペクトラム症）の二次的障害としての不登校に対する行動療法と感覚統合療法・発達障害（自閉スペクトラム症）の二次的障害としての不登校に対する太田のステージによる認知発達治療とTEACCHプログラム・発達障害（自閉スペクトラム症）の二次的障害としての不登校に対する補償代替コミュニケーション（AAC）とPECS／ソーシャル・ストーリーズと対人関係発達指導法（RDI）・発達障害（自閉スペクトラム症）の二次的障害としての不登校に対する精神力動的介入（遊戯療法の可能性について）・学内現場実習：発達障害（自閉スペクトラム症）児者への臨床心理学支援活動および事前準備に参加して学ぶ・カンファレンス　学内現場実習の振り返り・クライエント中心療法に基づく傾聴の体験　・カウンセリングにおける非言語的要素の影響を調べる実験・活動記録表を用いたセルフモニタリングと行動活性化・行動実験による苦手なことへの挑戦 | 90分90分90分90分90分90分90分180分90分180分180分 | ddddddcaaaa | AAAAAAAAAAA |